

令和4年度 第1回

秋田県行財政改革推進委員会議事録

日 時

令和4年7月6日(水)

午前10時～午前11時30分

場 所

秋田県地方総合庁舎 総606会議室

出席者

【委員】(五十音順)

遠藤宗一郎委員

倉林徹委員

高橋美佳子委員

【県】

信田総務課長

荻原総務課政策監

今野総務課主幹

安原総務課主任

1 開 会

(司会：今野主幹)

ただいまから、令和4年度第1回秋田県行財政改革推進委員会を開催します。

始めに、県総務課長の信田より、挨拶を申し上げます。

2 総務課長挨拶

(信田総務課長)

4月に着任しました総務課の信田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様には、御多忙の中、秋田県行財政改革推進委員会に御出席いただきまして、ありがとうございます。

また、今年度から4カ年の指針となる「行政改革の取組方針」については、昨年度、皆様か

ら貴重な御意見を頂戴しまして、策定することができました。改めて感謝を申し上げます。

県ではこれまで、行政コストを削減する「量の改革」と、行政サービス向上により県民の満足度を高める「質の改革」という観点から、行財政改革に取り組んできており、本日は、新行財政改革大綱(第3期)の最終年度にあたる、令和3年度の実績評価をお願いいたします。

これまでの4年間、一定の成果を上げた取組があった一方で、必ずしも思うように進んでいない取組もございますが、人口減少や高齢化など、本県を取り巻く環境はますます厳しさを増してきていることから、時代の変化に応じて適切な行政サービスを提供していくとともに、今年度からスタートした「新秋田元気創造プラン」に基づく施策の推進を下支えしていくためにも、今後とも行政改革にしっかりと取り組んでまいります。

委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見を頂戴したいと思いますので、本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介及び事務局紹介

【事務局から委員及び事務局の職員を紹介】

4 議事

(1) 新行財政改革大綱(第3期)の令和3年度実績の評価について

(倉林委員長)

それでは早速議事に入りますが、本日の議題は、「新行財政改革大綱(第3期)の令和3年度実績の評価について」です。まず、事務局から評価方法等について説明をお願いします。

【事務局から評価方法の説明】

(倉林委員長)

ありがとうございました。

次に、資料2により各項目の評価に入ります。

【資料2により評価及び意見を調整】

※審議を経た最終的な委員会としての評価結果及び意見は、令和4年9月議会総務企画委員会提出資料別冊「新行財政改革大綱（第3期）評価調書（令和3年度実績）」に記載のとおり

5 閉会

(司会)

長時間にわたって御議論いただき、ありがとうございました。

最後に閉会に当たり、総務課長から御挨拶を申し上げます。

(信田総務課長)

本日、委員の皆様には、様々な視点から御審議いただき、ありがとうございました。

御意見の中には励ましのお言葉も盛り込まれており、各職員も非常にやる気が出るのではないかと感じております。皆様から頂いた御意見や御提言については、できる限り各所属の取組に反映させていきたいと考えております。

また、本委員会としての会議は本日が最後となります。今後は、令和4年度からスタートしている「行政改革の取組方針」の下、DX・デジタル化の推進とともに、行政サービスの付加価値の向上につながる事項に重点的に取り組んでまいります。引き続き、御指導、御鞭撻のほどよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

(司会)

これで、令和4年度第1回行財政改革推進委員会を終わります。本日は、ありがとうございました。